

紀伊コスモス支援学校ボランティア養成講座開講式 6月13日(土)



今年度は、本校から6名参加することとなりました。開講式で、紀伊コスモス支援学校三反田校長先生は、「支援学校の先生は、

- ・ **指導**内容をやさしくする。
- ・ 丁寧に**スモールステップ**で**指導**する。
- ・ 繰り返し**指導**する。



この3点を常に心掛けて児童・生徒達とかかわってます。講座に参加する生徒の皆さんについては、この3点の『指導』の部分に『伝える』に置き換えて活動していただきます。緊張、とまどいもあるかと思いますが、『笑顔』がキーワードです。」とご挨拶されました。この3つの心掛けの重要性を再認識しました。

学校設定科目「介護」の授業で車椅子体験 6月17日(水)



3年生選択授業「介護」で車椅子を使っの授業を行いました。教室を離れ、ホールで交代しながらの実習でした。生徒のほとんどが、車椅子に触れること(押してみたり、乗ってみたり)が初めての体験であったようです。乗り降りの際に気を付けなければならないこと、ステップや段差での注意点など説明を受けながら体験しました。車椅子の乗っている側としては、少し怖い気持ちになったりしたようですが、実際の介護の場面ではお年寄りの方は、もっと怖い気持ちになるということを知り、あらためて介護の難しさを実感したと思います。この授業では、昨年「紀伊松風苑」を訪問しました。今年も計画されています。



教育実習の先生紹介

今年は、2人の教育実習の先生が西高に来られました。お2人の先生に自己紹介を兼ねて、実習の感想をお聞きしました。

田中 裕隆 先生 (商業科)

感想

4週間という長い期間に沢山のクラスに行かせて頂き、2週間目ぐらいから、生徒たちが挨拶をよくしてくれ、気持ちが楽になりました。とても良い経験ができました。ありがとうございました。

生徒のみなさんへ

自分の進路をしっかりと考えて下さい。学校・会社は沢山ありますが、カリキュラムや方針など違います。夢(職)につながる道は、一つではありません。後悔のない道を歩んでほしいと思います。

志岐 和紀 先生 (社会科)

西高を卒業して、京都の龍谷大学へ進学し、卒業後は、和歌山へ戻り、支援学で教える傍ら、ラグビーをしております。ラグビーでは和歌山代表として、県外に出場したりもしています。

今回、以前より高等学校で社会科を教えたいと考えておりましたので、教員免許を取得するため、母校へ教育実習に来させていただきました。いろいろと懐かしさを感じながら、実習をさせていただいております。

3年次生卒業アルバム用写真撮影

卒業アルバム用写真の撮影が始まりました。6月12日(金)には、中庭に3年学年団が集まって、集合写真を撮りました。この写真は、生徒たちにとって、心に残る1枚になることでしょう。



